



小見川中央地区

まちづくり協議会だより



NO. 22

秋季号

P1



！ボッチャや大会に参加され 元気いっぱいいな皆さん ！

各部会活動状況

地域活性化部会

◆初のポッチャ大会を開催して

.....鈴木 進 (部会長)

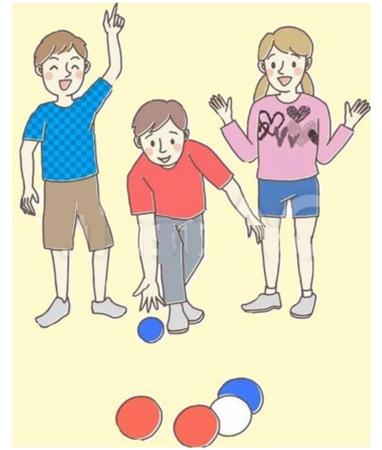
3月27日に『社会福祉協議会、NEXTかとり』との3社共催で第一回ポッチャ大会を開催した。大会は、老若男女の皆さんが集まり、16チーム50名の参加の下で行われた。試合は、まず予選として、4グループに分かれ4チームずつのリーグ戦により順位を決め、次に各グループ同順位チームを集めて順位決定戦を実施。その結果、1位から16位まで全チームの順位を決める方式で大会に臨んだ。

試合では、各コートで大きな声が飛び交いながら順調に進んで、それぞれのコートで順位が決まっていく。決勝戦以外は1セット戦、優勝決定戦はフルセット戦としていたので最後は2チームによる戦いとなり、参加者全員の声援の中で試合が進行。決勝を争ったチームは爺さんチーム(まちづくり協議会チーム)と孫さんチーム(中央小チーム)で、試合はまさに手に汗握る激闘で進んで行き、最終的には、周りから多くの声援を集めた小学生チームに勝利の女神が降臨した。おめでとうございました。3位には入会地Mチームが入った。

ポッチャは、ただ投げるだけだと甘く見、簡単かと思いきやいざ始まると2チームの投げ合いなので、相手チームのコースを邪魔したり、相手のボールを遠くに蹴散らしたりしながら、最終的にはジャックボールと言われるターゲットに一番近いボールのチームがそのエンドを勝利するというゲーム。ルールは至ってシンプルであるが、チームとしてどこにボールを置いて相手チームより自陣のボールをターゲットに近づけて終えるかいろいろ作戦を考えるので、意外と頭を使うゲームでもあった。投げコースを邪魔されていたら、上から落としたり、相手チームのボールを弾き飛ばして自チームのボールをターゲットに近づけられるかが大きなポイント。うまくハマると爽快に感じるので精神衛生的にも良いスポーツでもある。

大会終了後に集合して撮った写真(当報のオモテ表紙)にも現れているように参加者の皆さんは、思い思いに堪能されて素晴らしい一日を過ごされたようである。ポッチャは、何時でも簡単に楽しめる競技なのでこれからも継続して開催し多くの皆さんに堪能して頂きたいと思いました。

次回には多くの皆さんの参加を期待しています。



優勝 中央小チーム
準優勝 まち協・爺さんチーム
第3位 入会地Mチーム



◆グランドゴルフ大会開催・・・西岡敏明（協議会顧問）

ある日グラウンド・ゴルフを楽しんでいた時、ある方から「まちづくり協議会」で大会を開催しませんかと提案されたので、早々に、協議会の役員会に提案してみた。仲間とプレーしながら良くコミュニケーションがとれ、ボールを打ち・転がしながら知らず知らずの内に長距離を歩く良い運動であり、しかも誰でもがプレーできる高齢者向けの屋外スポーツであることが大きな決め手になり、早々に地域活性化部会を中心に開催することが決定された。

開催日を令和7年1月24日、会場は小見川青少年自然の家のグラウンドに決まり、大会運営の準備は香取地区グランドゴルフ同好会の役員を中心に、賞品等の購入や参加者募集のためのポスター作成は活性化部会で準備することに。定員80名、会費500円として募集したところ、興味ある人や希望者が多かったせいか数日も経たないうちに定員枠が埋まり、グランドゴルフ熱の高さに改めて驚かされた。運営は参加費を徴収していたので、多くの人に順位賞や参加賞などを提供出来る予算を立て実施することにした。

大会当日、自然の家の所長さんにもご挨拶を頂き、又、香取地区同好会の石井会長、鈴木活性化部会長の挨拶の後にいざスタート。プレーは、

待ち時間を少なく出来るショットガン方式（中間ホールからも含め4か所から一斉にスタート）で始まった。プレー中はアチコチで弾む声、ホールインワンを出し大喜びする声、失敗で悔やむ声などが聞こえていたが、参加者の皆さんには笑顔い

っぱいで楽しい時間を共有し無事終了した。成績は、男性の部優勝：西田敦司さん（写真の左側、打数74）、女性の部優勝：小川さち子さん（写真の左側、打数72、）でした。お二人ともホールインワンを2回出しました。おめでとうございます。

私もプレーし、グランドゴルフで初めて順位賞をゲット。お陰で参加者の皆さんと一緒に楽しくそして充実した一日を過ごすことができ非常に満足した日を送ることが出来ました。多くの皆さんから又開催して欲しいとの声が寄せられましたので来年度以降にも続けて開催したいと強く感じました。

◆これからの事業予定

駅前プランターの花いっぱい運動、各種スポーツ大会（スポーツ吹矢・ポッチャ等）の開催、中央小グラウンドを借りての初の盆踊り大会（8/23実施予定、詳細は次報にて）等を進めていきます。

住民の皆さんと一緒に楽しく、そして充実した時間を過ごし合って活力ある生活に向け勤しんまいりましょう。

プレーする参加者の皆さん



上位入賞の皆さん



男性の部

女性の部



生活・安全・防災部会

◆安心して暮らせるまちづくり・・・ 八重田正己 (部会長)

当部会は、小学生から高齢者まで、中央地区の皆さんが安心して暮らせる街づくりを目指して活動を続けています。

今年度は、以下の4事業を展開していきます

1. 生き生き！高齢者づくり ⇒ サロン“くろべ”の運営
2. 通学路の安全確保 ⇒ 安全・安心して通学できる環境作りの推進
3. 中央小児童の安全対策 ⇒ 既設の防犯システムの維持管理
4. 地域防災・自主防災づくりの推進 ⇒ 自主防災活動のサポート

上記の活動を維持、推進するためにも近隣の皆様のボランティア協力が欠かせません。是非ともご協力とご支援をよろしくお願い致します。

各事業の推進状況は次の通りです。

◆生き生き！高齢者づくり

サロン“くろべ”の運営

開催 第1/第3金曜日 9:30~12:00

もりもり体操で元気いっぱい！



囲碁、将棋も楽しんでいます！

最近では脳トレゲームも行っています

第三金曜には大正琴発表会もあります



お茶・珈琲は無料提供です



人との交流、特に話し合いは脳を活発に使っています。サロンに出掛けて他人と交流することにより脳細胞に刺激を与えていますので、認知症予防に繋がっていきます。多くの方々や初めて会う人との交流を面倒がらずに行い、生き生きとした日常を取り戻しましょう。

心と脳をリフレッシュ！して健康寿命を延ばそう！

最近ではもりもり開催時に脳の活力アップを目指して脳力アップ体操を実施しています。

運営スタッフの“交流会”

- ・サロンの運営に係る意見交換
- ・災害発生時の避難・誘導
- ・参加者のボランティア行事保険の導入などを話し合いました。



“運営スタッフ交流会”

◆通学路の安全確保と児童の安全対策

『第2回交通安全指導員交流会』を開催し
意思疎通を図る！



防犯パトロール員配置 MAP



- ・パトロールに不可欠な装備品を配布
- ・交通安全／防犯パトロールMAPの作成
パトロール員配置位置の共有化
- ・横断旗やのぼり旗の維持管理について
- ・人員不足 パトロールメンバーの高齢化

大きな課題が…



パトロール員の人員不足
高齢化問題



◆小学生の防犯・交通安全意識の啓発促進！

□標語コンクール作品の募集

- ・中央小学校の5～6年生を対象に、11月頃実施予定
- ・優秀作品は賞品提供と、“のぼり旗に作品と名前を掲載”し通学路に設置する
又、参加賞もあります

□通学路防犯システムの維持管理のサポート

- ・現存する防犯システムをメンテナンスし、安全な環境を維持していく

◆地域防災・自主防災を進めて安心安全な街づくりを目指そう！

当部会では、何は何といっても住民の心強い味方である”地域の防災力“をアップしていくため、訓練や勉強会などを支援する活動を展開しています。地域の力で安全安心な生活環境を確保できるよう自治会や地域主催の防災訓練をサポートしていきます。

□防災訓練や教育訓練の開催を10月～11月頃に予定

- ・訓練の内容は “避難訓練”、消火訓練”、“炊き出し訓練”
“防災の勉強会（出前講座の利用）” 等々
希望される自治会の区長さんからの連絡をお待ちしています



教育・文化・歴史部会

◆小見川祇園祭の体験事業・・・ 石毛 正俊（部会長）

古き良き伝統を体験し、未来に伝えるという主旨で『小見川祇園祭』に小学生

を派遣して祭りの雰囲気を経験して貰っている。今年の祇園祭は、7月19日・20日の両日に行われ、大根塚・八日市場の子ども神輿に9名、3町内会（仲町・南下宿・北下宿）の屋台引きに46名、計55名の応募があり参加しました。両日も好天に恵まれ、参加児童たちは、元気よく、数回に渡る踊りの練習の成果を思う存分発揮、小見川の伝統文化継承に大いに貢献しました。お疲れ様でした。

そうした小見川の将来を担う次世代の活躍を見るにつけ、祇園祭関係者や保護者の皆様はもちろんのこと、誰もが輝かしい小見川の未来に手ごたえを感じたことでしょう。



踊り体験中の小学生たち

◆今後の事業計画

回 郊外学習ツアーの予定

郷土文化サロンの一環で、郊外研修会を計画します。今秋は「銚子ジオパーク巡り」を11月20日（木）に実施予定です。

内容は、地元学芸員ガイドの協力を得て、数億年前の地層を見分し、恐竜がいた

ころの太古の時代に思いを馳せタイムスリップするのも良いのではないのでしょうか。振るってご参加ください。改めて募集案内致します。

銚子・屏風ヶ浦地層のあれこれ



回 郷土文化サロン

その他に、歴史・文化事業でさくら館ロビーにて小見川の風景画の展示を企画しております。平成初期に描かれた石毛英夫（故人）氏作の「小見川百景」と、現代の嶋津治夫氏作「安らぎの田園スケッチ」です。

ご来館の際には、是非ご覧になって下さい。古き、良き時代、そして懐かしき小見川の風景がそこにあります。

トピックス

我が町のシンブル・くろべ川は、多くの住民に慕われ、見守られ脈々と流れています。川の流れは、まさに町の大動脈、区域の発展は川によって支えられていると言っても過言ではないでしょう。そのくろべ川に関する話題を紹介します。

◆今、くろべ川を眺めると・・・嶋津治夫（東大根塚在住、新小見川百景作者）

くろべ川の近くに住んでもう四十年が過ぎる。当然のように毎朝の散歩は、くろ

べ川下流域の土手が中心となる。

川には右岸と左岸があり、僕が散歩しているのは右岸である。だから川の向こうには、スポーツコミュニティセンターや少年自然の家、水の郷ふれあい橋、そして遠くに鹿島の大煙突などが見渡せる。

先日、くろべ川の土手で『花植え祭』が開かれた。場所は、川の左岸、運動公園下の河川敷で行われた。以前から、花植え祭を見ていただけであったが、今年はその行事に参加。作業中に、いつも見ている川の景色とは少し違う風景に気がついた。左岸から見ると、そこには大根塚の家並みのほか、水都園の建物やパチンコ屋が見えるだけである。数年前まではポプラ並木があり心を癒す情景が感じられたが今はそれも無く淋しい。

川の風景は、見る位置によってその趣を変える、ということは、川は川自身の流れだけで存在しているのではないということだ。くろべ川は、旧干潟町の山間地から流れ出て、旧山田町の水田の中を流れ、小見川の市街地に入る。そこには「上大橋」「新田橋」「なかはし」「中央大橋」「大橋」「新開橋」といった橋が架かっている。橋の上から川を眺めると、それぞれに風景が異なり趣が感じられる。

今回「新おみがわ百景」と題してくろべ川の風景を描くために、今昔に思いを馳せつつあちこちと歩き回り、改めてくろべ川と小見川という町の在り様を考え深く感動した。考えてみれば小見川に住んでもう五十年になっているのだ。



花植え祭 皆さんお疲れ様でした！

写真提供:高橋釣り具店様

◆くろべ川を守るボランティアグループの紹介

★くろべ川は、

『くろべ川をふるさとの川にする会』

『Town 黒部川』

『くろべ川クリーン作成』などのグループ活動により守られています。6月7日(日)の花植え祭は、くろべ川をふるさとの川にする会が中心となり行われました。



6月7日植えられた当初のくろべ花壇



最近の様子…8月16日撮影



☆花植え祭にご協力頂きましてありがとうございました。お蔭様で今ではこんなに立派な花壇に変貌しています。

◆令和7年度定期総会終える・事業計画／新役員決まる



総会の様子

去る5月24日に、いぶき館にて定期総会を開催致しました。予定した上程議案（令和6年度事業報告／収支報告、新年度事業計画／収支予算／監査報告）並びに新役員選出／については原案通り承認されました。参加された委員の皆様方は大変お疲れ様でした。

なお新年度事業計画では、区内における移動困難問題解決に向け、いよいよ調査段階から検討・実証実験へと展開していく上で必要な組織に変容して進めてまいります。具体的には、行政と連携を保ちつつ、交通専門家のサジェストを頂きながら、利用者が安心して使え、かつ使い心地の良い運用システム・運用形態を作り上げ、令和8年に一部の地域で実証実験を開始する計画で進めていきます。

一方、当会の活動も地域の活性化をモチベートするというまちづくりの基本的観点から、今年度から地域の自治会的活動を横串的に一体化する試みに挑戦していく所存です。是非とも地域の自治会役員、住民皆様方のご理解とご協力を頂戴しながら進めて参りますのでよろしくお願い申し上げます。

新年度の計上予算は下記に示した内容で、又、新役員は以下の布陣となります。

【新年度予算 単位：千円】

【新役員一覧】

区分	新年度予算	前年度予算
地域活性化	716	742
生活安全防災	457	407
教育文化歴史	292	323
組織事業	100	98
計	1,565	1,570

役職	氏名	役職	氏名
会長	根本武彦	地域活性化部会長	鈴木進
副会長	林三和子	生活安全防災部会長	八重田正己
〃	石橋浩	教育文化歴史部会長	石毛正俊
〃	高橋裕	監事	石橋宏一
会計	土屋照夫	〃	小澤しづ子
事務局長	石井典雄		
顧問	西岡敏明	理事	13名

発行 小見川中央地区まちづくり協議会
 発行日 令和7年9月30日
 責任者 根本武彦 連絡先 ☎080-2565-9226
 編集委員 石井典雄 石橋宏一、石橋浩、鈴木進、西岡敏明
 (アイウ順)

編集後記

昨今、感染症の影響や、子供数の減少等により子供会や青年団活動が減衰する傾向になっている。その結果、住民同士の絆が徐々に弱くなっていく方向にあることは否めません。そこで今後、地域の活性化を促進するというまちづくりの基本的観点から地域活動を横串的に一体化する試みに挑戦していく所存です。地域の皆様もイベントに積極的に参加頂き、ご一緒に中央地区全体の元気さレベルアップに協力されることを願うばかりである (S.S)